

# お母さん業界新聞

2022年  
6月号

## 岡崎 Oka'n the Kids 版 (Vol.33)



### ★6月号のごあいさつ★

こんにちは、お母さん業界新聞「岡崎 Oka'n the Kids(おかんぎきつず)版」です。

暑い！毎日暑い！

急に暑くなって、身体がついていかず、ダル重な日々です・・・

そんな中でも、子どもたちは元気いっぱい。

若いうらやましい！素晴らしい！

私も身体にムチ打って、梅雨前に冬物を洗濯して片付けなければ・・・



### 母歴10年、ようやく読み聞かせにハマる

絵本の読み聞かせ・・・私は今までほとんど読み聞かせをしてきませんでした。

長男が幼いころは、「読んで」とせがまれるとしぶしぶ読む程度。

(とはいっても、せがまれる回数が多かったので、結果的にたくさん読んではいましたが)

次男にいたっては、日々の育児でへとへとなこともあり、ほとんど読まず。

なので、長男の時に買ったりもらったりした絵本は、2階の部屋に押し込まれていました。

お母さん大学のプロジェクトで「えほん箱プロジェクト」というものがあるのですが、

全国の仲間たちが「あの本がいい、この本がいい」と言っているのを横目に、その雰囲気に加われない劣等感を覚えていました。

「絵本読むのがめんどくさい私は、お母さんとしてどうなんだろ」と・・・



そんなある日『EQ 絵本講座』の体験講座を勧められ、まあ、受けてみるか、と軽い気持ちで受講してみました。

その講座の内容が、左脳派の私にとってもじっくりくる内容で、

論理的に説明されるのだけど、感覚に訴えかけられるというか、とにかく腑に落ちるものでした。

「絵本はいいよ～」となんとなく言われても、めんどくさが先に立っていた私が、

そういうことなら読めるかも、と思えました。

そしてさっそく、2階に押し込んでいた絵本を1階のリビングに持ってきて、

その夜、寝る前に「絵本を読もう」と息子たちを誘ってみました。

長男は昔読んでいた絵本を見て懐かしい様子。

次男はきょとん。けど、幼稚園で先生が読み聞かせていることもあり、すんなり受け入れてくれました。

いざ読み始めると、息子たちはとてもうれしそう。

そして息子たち以上に、私が癒される！穏やかになる！そんな感覚がじわーっと湧いてきました。

長男の時に「しぶしぶ読んでいた」あれはなんだったんだ？！

・・・きっと難しく考えすぎていたのかもしれない。

それからというもの、毎日寝る前の読み聞かせが日課になりました。

「きょうのえほんはなににしようかなー」と次男が本棚から選び、それを息子たちに読む。

毎晩、穏やかな気持ちで眠りにつけるようになりました。絵本のすごさ、素晴らしさに気づけてよかった！



幼稚園の時、絵本コーナーから動かなかった長男



【お母さん業界新聞配布場所】(岡崎市) 総合子育て支援センター・図書館交流プラザりぶら・げんき館プレイルーム・なごみん・やはぎかん・よりなん・むらさきかん・悠紀の里愛三堂鍼灸院 plus・ビューティーサポートエール・健心整体・ドゥーラステーションめぐる・みんなのおうち連尺・リラクゼーションサロン身安楽・ヘルシーメイト岡崎本社店 saku la (エステサロン)・タカキ薬局・トータルケア足の助・岡崎市立若松保育園

(名古屋市) およこサロン Smile Link・ヘルシーメイト名古屋焼山店 / (知立市) 防災ママかきつばた

その他、個人的に配布にご協力くださるみなさまのおかげで、たくさんの方たちにお読みいただいております！

※購読契約、活動サポーターも随時受付中！お母さん業界新聞はみなさまからの購読料とサポートで制作されています。詳しくは LINE・メール・お電話にてお問合せください！

### ★自己紹介★

天野智子(あまのともこ) 名古屋生まれ名古屋育ち。名古屋駅新幹線口から徒歩10分のところで生まれ育ちました。2005年に結婚、夫の仕事の都合で神奈川県川崎市と名古屋市守山区に住み、2013年に夫の地元である岡崎市に引っ越してきました。

今は、夫の実家で敷地内同居しています。2012年2月生まれの長男と2017年12月生まれの次男がいます。ずっとペーパードライバーで、バスと電車と電動自転車を駆使して、この車社会岡崎を生き抜いています。



この「岡崎 Oka'n the Kids 版」は以下の活動サポーター様のご協賛により発行されています。

岡崎市藤川「ビューティーサポートエール」様

岡崎市美合「トータルケア足の助」様

★ありがとうございます★



## <Eテレの歌に心揺さぶられたり、涙したり>

Eテレ「おかあさんといっしょ」の4月の歌、『うらら』。  
4月から新しく歌のおねえさんになった、まやおねえさんの歌声と、キレッキレのダンスがとても魅力的な歌です。

アップテンポなリズムと、明るい雰囲気、次男はとても気に入っているようで、4月はいつも、プラレール作りながら口ずさんでいました。

しかし私は、朝はバタバタ、ゆっくりテレビを観ている余裕はないので、『うらら』が流れてきても、いい歌だなー、くらいにしか思っていませんでした。

が、おかあさんといっしょが夜6時からの放送になり、たまたまごはんを作りながら観ていたら、

「・・・なんていい歌詞、そして大サビの前の部分の、ゆういちろうおにいさんの大サビにつながる歌声が素敵すぎる！」

と心が揺さぶられまくってしまったのです！

まやおねえさんの軽やかなダンスも本当に素晴らしい！

それ以来、『うらら』が流れると、忙しくても手を止めて見入ってしまうようになりました(笑)

思えば、Eテレの番組の歌は、結構「親の心に刺さる」ものが多い気がします。

長男が未就園児の頃、たくみおねえさんの時代に流れていた、

『ぼくらのうた』

プリンセスプリンセスのボーカルの岸谷香さんが作詞作曲、

幼児向け番組らしからぬポップな曲調、だいすけおにいさんとたくみおねえさんの希望に溢れたダンスに、すっかり心を奪われた当時の私。

以前放送されていた「フックブックロー」で流れていた、

『大きな木を抱きしめて』

スローで静かな曲調、歌詞がとにかく深くて大きくて、親が子どもに向けた思いを表したであろうそれは、聴くたびに毎回涙が出てくる歌でした。

(今でも聴くと泣けてくる)

「みつけた」で今でも時々流れる、

『グローイングアップ』

今まで使っていた椅子や三輪車、子どもの成長に伴って使えなくなり、おさがりに出す、という内容を子ども目線で歌っている歌ですが、

それを親目線に脳内変換してはこれまた涙する私・・・

もちろん子ども向けの歌もたくさんありますが、

最近のEテレの歌は、いま活躍しているアーティストのみなさんが作詞作曲しているものが多いからか、とにかく刺さる！

あと、「ノージーのひらめき工房」のオープニング、

♪きょうはなにができるかな ねえねえねえねえノージー

のところが音の重なり、の重厚感がたまらなく好きです。

だれか共感してくれる人いないかなー(笑)

## ☆今月の息子たち☆

### <小5長男、10歳4か月>

運動会の代休日、長男とランチに行きました。

行ったのは「もちこしうどん」で有名な、大正庵釜春さん。ずっと気になりつつも行けてなかったのですが、ちょうど大正庵釜春さんの近くに行く用事があったので、「お昼ごはんはここにしよう」と長男に言うと、うどん好きの彼は大喜び。

待っている人が何組かいましたが、回転が早いのかすぐに席に着くことができました。

長男は釜揚げうどん、私はもちこしうどんをオーダー。釜揚げうどんの食べ方をしっかり読んで、その通りに実践する長男。「んま！」とうれしそうに食べ進めていました。もちこしうどんは、さすが名物だけあって、本当においしい！向かい合って二人でうどんをすすりながら、

「ファミレスとかではなく、こういう普通のお店で落ち着いて食事ができるくらい成長したんだなあ」と私はしみじみ。うれしい代休の日になりました。



### <年中次男、4歳5か月>

やっと、床屋さんデビューしました！

新しいことへのハードルが高い次男、今までも何かにつけて、高いハードルを越えながらひとつずつ慣れていきましたが、床屋のハードルだけは本当に高かった！

すぐ髪の毛が伸びるので切らないといけなのに、「床屋さん行こうよ」「やだ」の繰り返しで、仕方なく私が切る・・・私だって得意じゃないので、下手っぴだし時間もかかるし、とにかく憂鬱でした。

あまりにもげんがりしている私を見て、夫が、

「プラレールの線路買ってあげるから床屋に行こう」と次男を誘うと「行く！」と！！！！

そして1時間後、線路を持って帰ってきた次男は、髪の毛サッパリさわやか！またひとつハードルを超えた次男でした。

### ★お母さん大学岡崎 LINE 公式アカウント&Instagram★

お母さん大学岡崎 LINE 公式アカウントはこちら→



登録&いいね！お待ちしております☆



←お母さん大学岡崎 Instagramはこちら

### ★7月の折々おしゃべり会のお知らせ★

日時：2022年6月30日(木) 9時半～12時

場所：岡崎市北部地域交流センターなごみん第3活動室  
(2階にあるプレイルームの横の部屋)

参加費：300円(活動費にあてます。新聞付き)

お申込み：お母さん大学岡崎公式LINEアカウントにメッセージ  
もしくは okan.the.kids@gmail.com にメール

途中参加途中退出OKです。お子様連れ大歓迎！

新聞折りながらゆるゆるお話ししましょう！

お母さん業界新聞 岡崎 Oka'n the Kids 版 Vol.33 (2022年6月)

発行/お母さん大学岡崎

編集長/天野智子(名古屋出身、小5と幼稚園年中の息子がいます)

090-7695-9129 okan.the.kids@gmail.com

Facebook ページ&Instagram「お母さん大学岡崎」も見てね！

お母さん業界新聞 全国版

発行/お母さん大学 発行人/藤本裕子(編集長)

制作/お母さん業界新聞社

〒221-0055 神奈川県横浜市神奈川区大野町1-8-406

045-444-4030 info@30ans.com

http://www.okaasan.net/